

2014年4月

民俗 — No. 8

けんぱくものしりシート

いじこ



このかご、何を入
れるのかなあ。

おもしろい
かたち
形をしてい
るね。



ハクちゃん



ケンくん



これは「いじこ」とい
って、赤ちゃんを入
れるためのかごよ。「い
じこ」という名前は、
「嬰兒」(=赤ちゃん)
を入れる「かご」から
来ているの。



かいせつしん
解説員

ええ！？どうして赤
ちゃんをかごの中
に？




しごと
仕事がいそがしくて、赤ちゃんのめんどうをみる
ことができない場合に入れたの。赤ちゃんはその
あいだ、この中にひとりでおいておかれたのよ。



ひとりで！それじゃあ、おむつの交かんは？



おしりを出したままにしていたのよ。おもらしをしてもよいように、い
じこの底に灰をゴザ(※)  などでつつんだものをおいて、
その上にやわらかくしたワラや、シツツキとよばれる、い草(※※)を
ほうきの形にたばねたものなどをして、くふうをしていたの。シツ
ツキはたくさんよういして、よごれたら、あらって使っていたのよ。



(※) ゴザ…い草でおった、しきもの。

(※※) い草…畳の材料となる植物。

ええっ！！



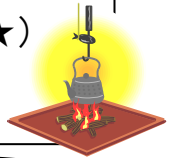


おもらしをしたまま
で、ひとりぼっちだ
なんて、かわいそう。

むかしは、大人たちがそういうことにか
まっていられないほど、いそがしかった
のね。いじこに入れていた赤ちゃんが



動物におそわれたり、いじこから落ちてケガをしまったりするこ
ともあったんですって。しょうぞう画が千円札になっている福島県出
身の医学者・野口英世も、赤ちゃんのころ、いじこからいろり（★）
におちて、手に大変なやけどをってしまったのよ。



へえ、岩手県だけじゃなく、福島県にもいじこがあったんだね。



同じようなものは日本全国にあって、このようにワラであまれたもの
が多いけれど、木製のものやそれに漆（★★）をぬったもの、竹製の
ものもあるわ。よび方も色々で、岩手県ではイジコやエジコなどとよぶ
けれど、エツメ、ツグラ、コシキ、エジメなどとよぶ地域もあるの。
今ではほとんど使うことはないけれど、みんなのおじいさんやおばあさ
んは、もしかしていじこに入っていたことがあるかもしれないわね。



もしそうだったら、どんなかんじだったか、話を聞いてみよう！

体験学習室には、じっさいにさわってみることができるいじ
こが置いてあるので、ぜひ体験してってね。



けんぱくものしりシート（★）民俗No.1「いろり」
（★★）民俗No.7「南部漆」をみてね。

参考にした本 『野の花 岩手の母子保健に生きた人々』 畠山富而 1982年 / 『民俗の四季』 森口多里 1980年 /
『戦後岩手の農村保健運動における乳幼児死亡問題と嬰兒籠』 吉長真子 2004年 他

来月（5月）の
けんぱくものしりシートは
現勢・生物—8だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷 34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>